

平成24年度活動ピックアップ！

第27回総会及び記念講演会

【開催日】平成24年4月25日（水）
【場 所】松山全日空ホテル 本館4階
ダイヤモンドボールルーム（松山市）
【参加者】総会109名、記念講演会125名（非会員含む）

第27回総会では、運営委員会事務局から提案された平成23年度の事業報告、収支決算報告及び会計監査報告並びに平成24年度の事業計画案及び収支予算案が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

その後、平成23年度調査研究活動の成果報告が実施され、会員委託調査研究2件と、愛媛県上島町におけるICT利活用普及促進活動について発表がありました。



第27回総会における審議



調査研究活動の成果報告



古川講師による記念講演会

また、総会記念講演会として、高松丸亀町商店街振興組理事長の古川 康造氏が「土地の所有と利用の分離によるまちづくり—地域情報化について高松丸亀町商店街に学ぶ—」と題する講演が行われました。

参加者からは「大変参考になる講演であった。」との感想が多数寄せられ、有意義な講演会となりました。

情報通信セミナー

1. 最近の電波行政の動向に関する講演会

【開催日】平成24年5月16日（水）
【場 所】松山全日空ホテル 本館4階
ガーネットルーム（松山市）
【参加者】100名

本情報通信セミナーでは、愛媛県IT推進協会と共催で総務省



総合通信基盤局電波部電波政策課課長補佐の松田 圭太氏を講師にお迎えし、「周波数オークション等最近の電波行政の動向」と題する講演が行われました。

周波数オークション導入のための制度改正や諸外国の事例を中心に、周波数の再編や電波有効利用の促進に関する取組等についてもご講演いただきました。

2. 情報セキュリティ政策に関する講演会

【開催日】平成24年5月25日（金）
【場 所】リーガホテルゼスト高松 2階
エメラルド（高松市）
【参加者】114名



本情報通信セミナーでは、かがわ情報化推進協議会と共催で総務省情報流通行政局情報流通振興課情報セキュリティ対策室課長補佐の中谷 純之氏を講師にお迎えし、「総務省における情報セキュリティ政策～スマートフォンの情報セキュリティ対策、国際連携におけるサイバー攻撃の予知・即応等～」と題する講演が行われました。

副題のテーマのほか、不正アクセス等についてもご講演いただきました。

地域情報化研修会

1. 管外視察研修会

【開催日】平成24年5月30日（水）～31日（木）
【場 所】ワイヤレスジャパン2012（東京ビッグサイト）
N T T 武蔵野研究開発センタ（武蔵野市）
独立行政法人情報通信研究機構
（N I C T）本部（小金井市）
【参加者】8名



ワイヤレスジャパン2012の会場

5月30日（水）は、東京ビッグサイトで開催されたイベント「ワイヤレスジャパン2012」に参加しました。モバイル／ワイヤレス市場における最新の製品やサービスの展示を視察し、各種コンファレンスにも参加しました（同イベントには、3日間で55,840名が来場しました）。参加者からは「最先端の情報通信技術に触れることができる良い機会になった。」等の声が聞かれました。

また、5月31日（木）は、午前中にN T T 武蔵野研究開発センタを訪問し、「時空間マップ型W e b 検索技術Dig-A-Map」、「I C カード情報流通プラットフォームN I C E」、「光アクセスネットワーク」及び「電力消費構造可視化システム」を見学し、それらの研究開発の目的や意義などについて説明を受けました。参加者からは「普段、何げなく使用している通信が、多くの先端技術によって支えられていることが理解できた。」等のご感想をいただきました。

午後はN I C T 本部を訪問し、「インシデント分析センターn i c t e r」、「日本標準時」及び「宇宙天気」について見学し、それらの研究開発の取組状況や成果などについて説明を受けました。今回の研修会では、一般には

【4】四情懇の活動

公開していない研究室等も見学することができ、参加者からは「特にインシデント分析センターが興味深かった。」「NICTの他の研究内容も拝見してみたい。」等のご感想やご要望をいただきました。

今回の管外視察研修会は、日本で最大規模のワイヤレス分野のイベントへの参加に合わせ、一般向けには広く公開されていない、NTTやNICTの最先端の研究開発拠点を視察することができ、参加した会員の皆様から大変ご好評をいただきました。事務局としては、会員の皆さんとして関心が高い情報通信関連の施設やイベント等について情報収集し、会員の皆さんに参加したメリットを感じていただけるような管外視察研修会の企画をご提案できるよう、今後も努めてまいります。



NICT本部 (NICT提供)

2. 地域コンテンツ利活用セミナー

【開催日】平成24年6月30日(土)

【場 所】アイテムえひめ 4階 第3・4会議室(松山市)

【参加者】33名

本セミナーは、(株)愛媛CATV常務取締役の白石 成人氏を講師にお迎えして、デジタルカメラを使った動画撮影の基礎講座として開講しました。

当日は、動画撮影に興味のある学生や社会人らが参加しました。撮影実習として、会場となったアイテムえひめで実施中の「えひめITフェア2012」の出展風景を、持参したデジタルカメラやスマートフォンで撮影した後、動画を撮影する際のポイントやブログでの動画公開方法について学びました。

本セミナーの参加者からは「また実施してほしい。」等のご意見をいただきました。



3. ICTとBCP研修会

【開催日】平成24年8月24日(金)

【場 所】ホテル千秋閣 鶴の間(徳島市)

【参加者】33名

本研修会は、東日本大震災以降、特に策定や見直しの必要性が高まっているBCP(事業継続計画)について、理解を深める目的で開催しました。

西日本電信電話(株)法人営業本部クラウドビジネス部担当部長の有馬 義雄氏を講師にお迎えして、参加者はBCPの必要性や重要性について理解した後、「ICT部門のBCP」や「ICTを活用した事業継続対策」について学びました。

また、当日は第3回徳島県事業継続計画策定優良企業表彰にて徳島県知事賞を受賞された(株)オプトピアの担当者から、BCP策定の経緯や取組に関する事例発表もありました。

本研修会に参加した方からは、「最近の事業継続対策のトレンドや対策ポイントについて解説していただき、よく理解できた。」「これからのBCP策定に向け、事例発表は大変参考になった。」等の声が聞かれました。



情報化推進イベント

えひめITフェア2012への出展

【開催日】平成24年6月29日（金）～30日（土）
【場 所】アイテムえひめ 小展示場（松山市）
【参加者】9,833名（フェア実行委員会事務局発表）

例年、松山市で開催されている「えひめITフェア」に、今回、四国情報通信懇談会として初めて出展しました。

出展ブースでは、「事業内容」、「重点施策」、「活動内容」を紹介するパネルを展示し、日頃の取組についてPRしました。

また、四情懇の活動内容を紹介したパンフレット、ICT研究交流フォーラムの活動報告、平成23年度の会員委託調査研究活動の報告書について、展示・配布しました。

29日は主にビジネス関係者、30日は主に学生や親子連れ等の一般の方が来場されましたが、今回の出展により、一般の方にも幅広く四情懇について認知していただくことができました。

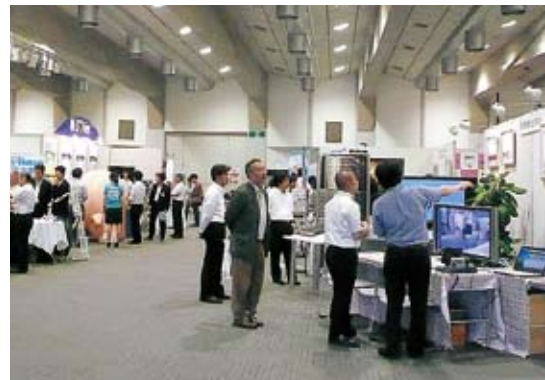
また、来場されたビジネス関係者に四情懇の活動を積極的にPRした結果、複数の企業が四情懇に入会されました。



オープニングセレモニー



出展ブースで日頃の取組をPR



えひめITフェア2012の様子

ICT研究交流フォーラム

1. 第5回技術セミナー

【開催日】平成24年5月18日（金）
【場 所】愛媛大学 南加記念ホール（松山市）
【参加者】125名

本技術セミナーは、全国で実施されているスマートグリッド関連技術に関する実証実験の取組概要や研究成果について紹介し、今後のスマートグリッドの課題や未来を探ることを目的に開催し



【4】四情懇の活動

ました。当日は、松山市、北九州市、東京及び青森県六ヶ所村の実証実験について紹介する講演がありました。

まず、東京大学大学院情報学環教授の越塚 登氏が「松山市高井町スマートレジデンス実証実験の成果報告」と題して講演しました。当該実証実験におけるエネルギーのモニタリング状況や、モニターに提案したe-カルテについての報告があり、コストの考え方やスマートメーターの使い方モデルについての課題を提示しました。

次に、西日本電信電話（株）北九州支店法人営業本部S E部長の明石 信宏氏が「NTT西日本における環境負荷軽減の取組報告」と題して講演しました。平成22年度に実施された「北九州スマートコミュニティ創造事業」の一環としての実証実験と、平成23年度に実施されたオフィスビル等での「ICT利活用による環境負荷軽減の実証実験」について報告しました。

続いて、東京ケーブルネットワーク（株）執行役員の遠藤 昌男氏が「東京ケーブルネットワークにおける“CATV-スマートグリッド”電力量『見える化』への取組」と題して講演しました。地域密着型メディアとしてのCATV事業者の立場から、スマートグリッド業界に対するビジネススキーム等を提案しました。

最後に、イオスエナジーマネジメント（株）企画管理部企画グループ次長の太塚 篤史氏が「六ヶ所村スマートグリッド実証実験について」と題して講演し、日本風力開発グループの取組と当該実証実験の概要について紹介しました。

参加者からは各講師に対して積極的に質問が出され、会場は熱気に包まれていました。

2. 第6回技術セミナー

【開催日】平成24年8月28日（火）

【場 所】サンポートホール高松 54会議室（高松市）

【参加者】130名



本技術セミナーは、ICTの利活用により地域住民の生活向上、新規事業の創出、地場産業の振興等の地域社会・経済活動の活性化に寄与しようとするICT研究開発の取組と成果を発表する目的で開催しました。当日は、平成23年度SCOPE成果報告として（有）電マーク及び高知工科大学の2件と、ICT研究交流フォーラムの登録会員から3件の成果発表がありました。

まず、（株）STNetの理事で営業本部副本部長兼新高松データセンターのプロジェクト営業統括である田口 泰士氏が、「香川が日本を守る～情報化社会の発展に対応する西日本最大のデータセンター～」と題し、高松市内にSTNetが建設する西日本最大で最新鋭のグリーンデータセンターについて発表しました。

次に、（有）電マーク代表取締役の中野 裕介氏が、「小規模マイクロログとクロスインタフェースの研究開発」について、地域の交流、災害対策、医療、家庭生活等で利活用するため開発した独自マイクロログ「LNS（Life Networking Service）」を用いたFacebookなどの情報発信・共有ツールと連携した成果を発表しました。

その後、高知工科大学の岡村 健志助教が「地域の植物資源活用プラットフォーム『ルピナス』の構築と活用」と題して発表し、ルピナスの開発経緯や最新の取組内容について紹介しました。

さらに、スタンシステム（株）専務取締役の眞鍋 厚氏が「徳島県発『自治体OSSキット』と『オンラインストレージサービスDECO』の開発」について発表しました。とくしまOSS普及協議会（7/17発足）についても紹介しました。

最後に、NECシステムテクノロジー（株）サーバ基盤事業部マネージャーの渡部 博之氏が、「ICT機器の遠隔操作を可能とするフィンガージェスチャー技術の研究開発」について成果発表を行いました。

なお、当日の会場では研究開発されたシステム・機器等の展示や説明も行いました。

調査研究活動

四国情報通信懇談会では、会員の主体性を生かした調査研究活動を実施するために、会員からの提案を募集し、採択審査の上、提案会員にその調査研究を委託しています。平成24年度は、下記の2件の提案が採択されましたので、ご紹介いたします。

1. ICTで真に望まれる高齢者支援サービスの調査研究

- [実施者] ㈱ハートネットワーク
- [目的] 高齢者（65歳以上）を対象にICTを活用したツール及びアプリケーションを開発・提供し、支援サービスを利用してもらうことにより、高齢者にとって利用し易いまたは利用できるツール及びサービスを調査研究し、高齢者が真に求めるサービスを探る。
- [調査研究項目] ○高齢者に対し優しく有効なインフラ、システムの調査研究
○高齢者に対し優しく有効な端末の調査研究
○高齢者が必要とするサービス及びアプリケーションの調査研究
- [成果目標] 利用者に対し、定期的にヒアリングを行い、システム及びサービスの稼働状況と合わせ下記の事項について検証する。
○利用者が求める支援サービスメニューの絞込み
○利用者に優しいツールの絞込み
○利用者に優しいアプリケーションの開発、改良
○利用者が必要とする情報の把握

2. 観光地における観光客向け情報配信システムと屋外情報端末の利用促進の調査研究

- [実施者] 兼久 信次郎 氏
- [目的] 観光客へ観光施設、店舗（観光、名産品などの物販や観光客向けサービスをしている店舗）情報を提供すると共に目的地へナビゲーションし、消費行動へと誘導することにより地域経済の発展に寄与するシステム開発を目的とする。
- [調査研究項目] 今回の調査研究では、観光客をターゲットとする。
○観光客が観光地の屋外（路上）に設置された端末から観光施設や店舗などの情報を収集し、目的地までのナビゲーションを効率的に行う方法の調査と、その検証にあたっての観光客のニーズ調査
○屋外に設置された情報端末から情報を収集するかどうかの調査
○屋外に設置された情報端末から得たい情報はどんなものかの調査
- [成果目標] 観光地における情報発信ステーション向けアプリケーション（サービス）の開発を成果目標とする。